

関係市町村長 様

公益財団法人北海道市町村振興協会
理 事 長 棚 野 孝 夫
(公印省略)

令和5年度先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金に係る実績報告書等の提出について（通知）

このことについて、当該助成金に係る実績報告書等を下記により提出してください。

記

1 提出先及び提出期限等

(1) 提出先及び提出方法

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 北海道自治会館6階

公益財団法人北海道市町村振興協会 事業推進担当（郵送又は持参により提出してください。）

(2) 提出期限

事業の完了の日から1カ月以内（最終提出期限：令和6年（2024年）2月29日（木）必着）

(3) 提出書類等

別紙1「先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金実績報告等提出書類一覧」を参照の上、実績報告書及び調査研究結果報告書（以下、「研究成果」という。）、必要な添付書類等を提出してください。

なお、実績報告書等の様式データは、当協会ホームページからダウンロードしてください。

（「申請書等ダウンロード」 https://do-shinko.or.jp/dl_application/）

(4) 提出部数

1部

2 留意事項

実績報告書等の提出に当たっては、次の事項に留意してください。

(1) 実績報告書は、「記入例」を参考に作成してください。

(2) 次に掲げる事項を変更する場合は、あらかじめ「変更届（別記第2号様式）」の提出が必要です。

ア 事業名（事業名を「仮称」として申請した事業を含む。）

イ 総事業費の20%を超える事業費の変更

事業内容の著しい変更に伴い、事業費が20%以上増減する場合には必ず提出してください。事業費の
みが増減する場合には提出は不要とします。

(3) 助成事業で作成した研究成果等には、市町村振興宝くじ（通称：サマージャンボ宝くじ）の収益金を活用
した事業である旨の表示が必要です。詳細は「別紙2」を参照してください。

(4) 添付資料の記録写真は必ず提出してください。

(5) 助成事業に係る研究成果を必ず提出してください。なお、この研究成果は、当協会ホームページに掲載し、
他市町村に公開します。

(6) 実績報告書等の提出遅延により、助成金交付事務に支障を来さぬよう、提出期限を厳守してください。

事業推進担当主査：石井

TEL：011-232-0281 FAX：011-221-5866

E-mail：z-4@do-shinko.or.jp

HP：<https://www.do-shinko.or.jp/>

先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金 実績報告等提出書類一覧

区分	提出書類		必要書類
変更届	別記第2号様式	変更届 ※事業名や事業費、事業内容等を変更する場合に提出してください。	○
申請取下	別記第4号様式	助成申請取下書 ※やむを得ない事情により事業を中止した場合や、交付要綱等に規定する要件を具備しなくなった場合に提出してください。	○
実績報告書	別記第6号様式の1 【単独】	助成事業実績報告書 ※市町村長の公印押印が必要です。	○
	別記第6号様式の2 【広域】	助成事業実績報告書 ※代表市町村長の公印押印が必要です。	△ 広域事業の場合
	(別紙)	助成金配分内訳及び振込先口座 ※広域事業で、複数の市町村に助成金を配分する場合に提出してください。	△ 広域事業の場合
	(別紙様式1)	事業内容書 ※事業概要及び事業効果を記載してください。	○
	(別紙様式2の1)	収支決算（見込）書	○
	(別紙様式2の2)	収支（見込）内訳書	○
	(別紙様式3)	市町村情報誌「プラクティス」掲載様式 ※できるだけ要点をまとめて記載するとともに、本様式及び画像データは、Eメールで別途送信してください。	○
	《添付書類》	1 調査研究結果報告書「研究成果」 ※調査研究又は実証事業等の結果報告書を必ず提出してください。なお、2カ年の継続事業の場合は、中間報告書等の提出が必要です。	○
		2 契約書（請書）の写し	○
		3 支出伝票の写し ※会計課決裁済みのもの（債権者への支払年月日があるもの）	○
		4 写真、パンフレット、新聞記事、ポスター、チラシ等 ※助成事業により作成したものを添付してください。	○

※各様式は、当協会ホームページ (<https://www.do-shinko.or.jp/>) の「申請書等ダウンロード」に掲載しています。

先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金に係る宝くじ広報表示マニュアル

1 宝くじ広報表示の目的

先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金は、サマージャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の販売収益を原資として、市町村が実施する調査研究事業等に対して助成金を交付します。

しかし、近年は宝くじ販売額の減少が続いており、本助成制度の維持・継続には、安定的な販売収益の確保とともに、発売収益金の有効活用や、市町村を通じた地域への還元について、サマージャンボ宝くじの購買者である、住民の理解促進を図ることが極めて重要です。

このため、本助成金の交付を受けて実施する調査研究事業については、事業実施主体である市町村が、住民への事業周知等にサマージャンボ宝くじの広報宣伝を記載する旨を、先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金交付要綱第13条で規定しています。

2 広報表示の例文

申請事業の実施形態等を勘案し、適した例文を使用してください。

【例文1】

この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

【例文2】

この△△（例：パンフレット等）はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して作成しています。

【例文3】

この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて実施しています。

【例文4】

この△△（例：パンフレット等）は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて作成しています。

【例文5】

サマージャンボ宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに活用されています。

3 宝くじマスコット「クーちゃん」の表示について

上記例文のほか、宝くじマスコット「クーちゃん」を表示してください。

- ◆ カラーで使用する場合は、上に掲載のカラーを変更しないこと
- ◆ サイズを変更する場合は、縦横比率を変更しないこと
- ◆ 最小使用サイズは20mm とすること（印刷物のサイズやレイアウト、成果品の素材等の事情により、物理的・経費的にやむを得ないと判断される場合は、その限りではない。）



パターンA



パターンB

※ 画像データは助成申請時の様式データ集に添付しています。

5 その他

(1) 助成決定前に実施する事業について

助成決定前に実施する等、やむを得ない事情により、例文1～4の表示を行うことができない場合は、例文5の表示を記載する等の対応をお願いします。

(2) 成果品への広報表示について

事業成果品のすべてに広報表示を行う必要はありませんが、調査研究事業等への参加者や住民、観光客等により効果的にPRを行うことができるポスターやパンフレット等には、作成時点で必ず広報表示を記載してください。

6 サマージャンボ宝くじ広報表示に係るQ&A

Q1：広報表示を行わなかった場合はどうなるのか。

A1：本助成金は、サマージャンボ宝くじの収益金を原資として、市町村が実施する調査研究事業等を対象に交付します。正当な理由がなく、広報表示を行わなかった場合は、継続事業の2年目あるいは次回以降の助成申請に際して、審査・採択の優先度を引き下げ、不採択とすることがあります。

Q2：「サマージャンボ」を略して「宝くじ」だけの表示でもいいのか。

A2：「サマージャンボ宝くじ」と表示してください。

Q3：サマージャンボ宝くじの販売は営利事業ではないのか。営利事業の広報宣伝はできない。

A3：営利事業ではありません。発売収益金は市町村の振興を支援する事業に活用しています。

Q4：他の宝くじ（年末ジャンボ宝くじ等）のPRはしなくてもいいのか。

A4：本助成金を活用して事業を実施する場合は、「サマージャンボ宝くじ」のPRをお願いします。

Q7：印刷物等の目立たない場所（奥付等）に記載さえしてあれば問題ないのか。

A7：広報表示には該当しないと判断し、上記A1と同様の取扱いをする場合があります。